



園の花壇(コスモスとヒャクニチソウ)→

爽やかな秋晴れが続いています。やっと秋が来た感じがします。園庭の楓も紅葉してきました。短い秋です。目いっぱい秋を楽しみたいです。



さて、運動会、初の親子遠足、お天気にも恵まれ予定通り出来て本当に良かったです。直接子供の指導にはあたってなくても、大きな行事には職員全員で取り組みます。行事の提案、音響、文書等の発送、外部との渉外、園庭や駐車場の整備などなど、本当に暑い中でしたが、運動会や遠足がスムーズに実施できるよう、それぞれの職員が通常の仕事と並行しながら準備に取り組みました。子供たちが、生き生きとかがやけるよう、バックヤードでがんばった全員に、目には見えない・形もないけど、『心のごほうびメダル』を進呈しましょう。パチパチパチパチ！ 鳩山幼稚園 教育目標「生き生きとかがやいている子」

【幼稚園でできるESD 2023】 ピジヨっこみんなのファーム

＜秋空の下、親子でサツマイモ掘り -いっしょに取り組む食育活動-＞

5月25日(水)にお家の人といっしょに植えたサツマイモの苗。夏の除草・蔓返し、そしていよいよ10月24日(火)収穫の日を迎えました。前日に自分の株が分かるように蔓を1家庭ずつに固めておきました。株元から蔓を鎌で切ってイモを掘る手順の説明を聞いてから、自分で植えたサツマイモを掘りました。

植えた場所ごとに挿しておいた名札は、字がにじんで判別不能となっていました。それでも皆さん自分の場所を探し、蔓を鎌で切って我が子と一緒にイモ掘りを始めました。一緒に作業が始まる前に、畑に行って2株ほど試し掘りをしてみたところ収穫量があまりに少なかったのが心配しました。いざ掘ってみると子供たちのところは結構な収穫量で、主催者側の幼稚園としてもホッとしました。たくさんのお土産を持って帰ることが出来ました。子供たちにもお家の人にもどのようにサツマイモが出来るのか観てもらいたいと考え、今回はあえて蔓を残しておきました。大きなイモムシがいたりバツが髪についてしまったり、ぎょっとする場面もありましたが、自然の中ではそういうこともあります。

サツマイモの追熟期間は2週間から2ヶ月とありました。ネットで調べると追熟方法やレシピが色々出ています。親子で一緒にクッキングも良いと思います。美味しくして食べてください。そしてまた、後で感想を聞かせてください。



親子で畑に行きました



一緒に掘りました



一株でこんなに収穫できました



面白い形!

サツマイモ…栽培方法を変えて(実験)

5月、畑に植えたのとは別に、買ったプランターの土の袋の上部を切り、サツマイモの苗を植えてみました。今日にじ組のみんなで掘ってみました。結果は、小さなサツマイモばかりで、量も少なくちょっと残念な感じでした。伸びた蔓を野菜が育たなかったプランターに植えてみたものは大人の指位のサツマイモが出来ていました。大地の力の方が大きかったようです。



育っているかな?



小さいです。

高いサツマイモになりました

<【実験】お米を食べられるようにしよう…第1弾>



有志で脱穀を始めました



脱穀の新しい方法



みんなで



脱穀終了

【脱穀しよう】

今年は全部自前で脱穀しました。牛乳パックの角を使い、力を入れてこそげ落としました。牛乳パックの中に粃がたまっています。これを何度も何度もくりかえします。新しい方法で割りばしの中に稲を何本か挟みこそげ落としました。(千歯こきはこのやり方を一度に行う方法ではないかと思いました。)何日もかけてやっと脱穀が終わりました。全部で6、6キロになりました。この後、粃摺りになりますが、効率的にするにはどうしたらよいか悩んでいます。

<その他の栽培の様子> 園の花壇 2年越しのホオズキ 秋どりジャガイモ(2種類)

〇2年越しのホオズキ
ホオズキは種をまいてから身をつけるまで2年かかります。今頃になってきれいな実をつけました。完熟ミニトマトのような実ですが食べられません。来年は食べられるホオズキにチャレンジしたいです。



2年越しでできたホオズキ

〇サツマイモ掘りの時、ピジョッコファームの真ん中あたりにジャガイモがだいぶおおきくなってきたのに気づいたでしょうか？子供たちが植えた？置いた？サヤアカネと後から家にあったアンデスレッドも植えてもらいました。



秋ジャガイモがだいぶ

育ってきました

<育つ科学の芽>

子供たちから科学的な芽生えが生まれてきています。



サツマイモの花

植物の根をかじってしまうコガネムシの幼虫。みんなで探しました。

サツマイモの花を見て「アサガオに似ている！」とすぐに答えていました。どちらもヒルガオ科です。



コガネムシの幼虫とり



実験

<さくら組も芽生えてきました。>
科学絵本「さつまいも」から…サツマイモから根が出て葉が出る様子が見たい！本物で実験



科学絵本



秋の読書推進月間(10月27日-11月23日)にちなんで【鳩山幼稚園 職員の思い出の本を紹介】

- 〇「ちいさな うさこちゃん」ディック・ブルーナ (窪田幸恵 教諭)
小さなころ母に何度も読んでもらった思い出があり、表紙を見るだけでも懐かしい気持ちが蘇ります。自分で読んだ初めての絵本です。
- 〇「紫電改のタカ」(月刊誌 冒険王) ちば てつや (福田敏彦 ドライバー)
第2次世界大戦下、零戦22型を使いパイロットの教育をする内容。大人になったらパイロットになろうと思い、月1回の発売日が楽しみでした。(白パイにも憧れ、これは念願がかないました。)
- 〇「くろくんのふしぎなともだち」(くれよんのくろくんシリーズ) なかうや みわ (井汲亜矢子 預かりT)
乗り物が好きだった長男に大ヒットでした。キャラクター化したクレヨンのかわいらしさと分かりやすい色を題材にしたお話に、不思議なお友達の登場でどんどん世界が広がっていく中、相談したり、喧嘩したり仲直りしたり・・・、現実のお友達との関わり方にも活かしてほしいと願いを込めながら、楽しく読んでいたことを思い出します。
- 〇「はじめてのおつかい」 筒井 顕子 (田中真由 美預かりT)
5歳の女の子がお母さんに頼まれて妹のために牛乳を買いに行くというお話です。ドキドキ感や牛乳がやっと買ってうれしい気持ち、お母さんが家の外で待っている姿が見えた時のうれしさ、優しい気持ちになれる本です。
- 〇「ぼんたのじどうはんばいき」 加藤 ますみ (坂元正太 教諭)
4歳の時に幼稚園の月刊誌の1冊として受けとった本。お気に入りだったようでこの本だけが実家に残っていました。登場人物のライオンを見て、「怖くないライオンもいるんだな…」と感じたことを覚えています。世代を超えて読み聞かせにも活躍しています。
- 〇「ノントンおよぐのだいすき」 キヨノサチコ (星野佐和子 教諭)
小さいころ何度も何度も母に「読んで！」と持っていったそうです。特に好きだったシーンはママが見つかり再会できたところ、と話していました。母が大好きだったので少しでも姿が見えないと心細くて泣いていたのを思い出しました。この本を読んでもらうと何だか心地良かったような気がします。

残りの職員は次回で紹介 尚、本人から提出された本文は一部変更した箇所があります。

活動の流れ <11月> 【11月15日は幼稚園の創立記念日です。昭和41年創立】



時期	さくら組	にじ組
11月上旬 中旬 下旬	<ul style="list-style-type: none"> • にじ組のお店屋さんごっこで、お金を作って買い物をする。 • 図書館に行って絵本を借りる。 • 山村短期大学を訪問する。 • お楽しみ会について話を聞きながらオペレッタや歌の準備をする。 • 折り紙でサンタクロースを折る。 <p><お楽しみ会に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> • お話の役になって遊び、歌を歌う。 • オペレッタのダンスをみんなと一緒に踊ったり、役に分かれて踊ったりする。 • オペレッタや歌に必要な物を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> • お店屋さんごっこの話し合いをして、製作準備する。 • さくら組を招いてお店屋さんごっこをする。 • ヒヤシンスの水栽培をする • 図書館に行って絵本を借りる。 • 山村短期大学を訪問する • お楽しみ会の劇について話し合い、準備をする。 • 折り紙でサンタクロースを折る。 <p><お楽しみ会に向けて(劇)></p> <ul style="list-style-type: none"> • お楽しみ会での出し物を話し合う。 • 劇の役割分担を話し合って決め、練習する。 • お楽しみ会に向けて大道具や小道具等必要な物を作る。



<10月のピジョっこフォト>

4日(水) 栗ひろい

楽しかったね。栗拾い。美味しかったね。利平栗

自転車練習が始まりました。にじ組はスイスイですが、さくら組は初挑戦です。



にじ組の真下さんのご厚意で栗拾いを体験できました。みんな大喜びでした。子供たちはたくさんお土産を持ち帰ることができました。



さくら組自転車練習

7日(土)運動会



さくら組ダンス



にじ組表現



にじ組リレー

教育委員会、町議員の皆様にも見ていただき、(職員が)励みになりました。

13日(金) げんきプラザ親子遠足



○初めての親子遠足で小川のげんきプラザに行ってきました。鳩山は暑いですが、げんきプラザはちょっと寒いくらいの感じでした。プラネタリウムはきれいな映像で引き付けられました。

23日(月) 保育体験



トリックオアトリート!

27日(金) 栄養教諭講話



○さくら組がひよこ組のために、お菓子を(食べられません)をたくさん作ってくれました。(23日)
○完全給食が始まって5ヶ月、栄養士さんを招聘して朝ごはんの大切さと給食が出来るまでのお話をしてもらいました。(27日 保育参観)



『 楽しそうな声が聞こえてきます 』

さくら組担任 星野 佐和子

初めての運動会が終わり「もう1回運動会やりたいな。」「また踊りたい。」など嬉しい声が聞こえてきました。毎日少しずつ練習をして、とうとう迎えた本番。たくさんのお客さん達の前で、緊張しながらもさくら組みんなが楽しく頑張りました。温かいご声援をありがとうございました。

☆運動会の絵☆

「運動会の頑張った姿を絵に描いてみようよ。」と担任が声を掛け、当日を思い出しながら製作をしました。まずは顔を描き、胴体のパーツを貼り合わせ、ポンポンを作り、製作を進めていくうちに「運動会の時、誰々が来ていたんだよ。」「良いお天気だったよね。」等、会話が聞こえ、思い思いの絵を描き、完成させた製作の仕上がりは、とても生き生きとした作品になりました。運動会を経て、やってみたら出来た！楽しかった！を自信に、これからも色々なことにチャレンジしていきたいと思います。

☆ドングリ遊び☆

園庭のどんぐりが緑色から茶色に変わり、地面にどんどんと落ちるようになりました。さくら組のみんなも、どんぐりを拾い集め、どんぐりこまを作ったり、砂場の料理の飾りつけに使ったり、トラックの荷物に見立てたりと、どんぐり遊びを楽しんでいます。そしてこの季節に登場するのがどんぐりコースターです。トイレットペーパーの芯をどんどんと長く繋ぎ合わせ、どんぐりを滑らせていくのですが、「ちょっと待って、こうしてみようよ。」「見てて、見てて。」など楽しそうな声が廊下から聞こえてきます。こうしてみたらもっと楽しいかもしれない！を試しながら、この季節ならではの遊びを、楽しんでいます。



にじいろ

『 楽しみなお店屋さんごっこ 』

にじ組担任 窪田幸恵

先日の運動会で13人全員で力を合わせたことで、にじ組のみんなは絆がより一層深まり、笑顔を見せとお喋りを楽しんだり、友達と一緒に自分たちで考えた遊びに取り組んだりしています。

そんな中、担任が『お店屋さんごっこ』の話をもちかけてみると「キャ～！」と歓声が上がリ、「一緒のお店屋さんになろう！」と隣の友達と抱き合ったり、何が作りたいかを相談したり、楽しくて仕方がないといった様子が見られました。

★自分の気持ちを伝えたい！「先生！早くお店屋さんの話し合いしようよ！」朝の支度を終えたAちゃんは、待ちきれず担任に声を掛けます。「ワクワクするな～！いつから作る？」とB君もそわそわしています。前日、担任から「何のお店屋さんがやりたいのか考えてきてね」と声を掛けられていたにじ組のみんなは、自分のやってみたいお店を一生懸命考えてきてくれたようです。

★友達の意見も聞いてみよう「僕はドーナツ屋さん！」「私はペンダント屋さん…」と自分の意見が次々にあふれてくるにじ組さんの気持ちを、クラス皆で共有できるように一人ずつ前に出てきて発表してみることにしました。「スマホ屋さんがやりたいです」「パン屋さんがいいです」など、一人一人が自分の考えてきたことを友達の前で立派に話すことができました。具体的に作り方を考えてきてくれている子もいて、身振り手振りをつけながら一生懸命に話す姿も見られました。また友達が発表している時は、友達の意見にも耳を傾け、「いいね～」など共感する姿も見られ、そんなにじ組さんの様子に成長を感じ私もとても嬉しくなりました。

今、お店屋さんのオープンに向けて可愛い店員さんたちは品物作りに取り組んでいます。友達と一緒にイメージを膨らませて試行錯誤を繰り返しながら、オープンの日まで力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

